

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2023.1.31
No.473



業況 BSI 3 期連続上昇 (2022 年 10～12 月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2022 年 10～12 月期の県内企業の業況実績
2023 年 1～3 月期の県内企業の業況見通し

【調査結果概要】

1. 2022 年 10～12 月期の業況

- (1) 業況 ⇒ 「業況 BSI」 1.0 (前期比 4.2 ポイント上昇) 3 期連続上昇
 - (2) 地区別 ⇒ 「業況 BSI」 青森と県南上昇、津軽低下
 - (3) 売上高・出荷高・受注高 ⇒ 「売上高 BSI」 3 期連続上昇、「出荷高 BSI」 2 期ぶり低下
「受注高 BSI」 2 期連続上昇
 - (4) 採算 ⇒ 「採算 BSI」 2 期ぶり上昇
 - (5) 設備投資 ⇒ 「設備投資 BSI」 製造業 2 期ぶり上昇、非製造業 2 期ぶり低下
2. 経営上の問題点 ⇒ 「仕入単価上昇」最多 以下「燃料価格上昇」続く
3. 来期の見通し ⇒ 「業況 BSI」低下見込み $\Delta 6.4$ (当期比 7.4 ポイント低下)

◎調査要領

調査時期 2023 年 1 月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 493 社

回答企業 316 社 (回収率:64.1%)

(産業別) 製造業 66 社 建設業 66 社 卸売業 63 社 小売業 42 社 運輸業・サービス業 79 社

(地区別) 青森地区 121 社 (青森市、むつ市、東津軽郡、下北郡)

津軽地区 90 社 (弘前市、五所川原市、黒石市、平川市、つがる市、北津軽郡、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡)

県南地区 105 社 (八戸市、十和田市、三沢市、上北郡、三戸郡)

※BSIとは ⇒ Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味。


業況判断は前年同期との比較によるものであり、指標の求め方は次の通り。

BSI = 「業況良好企業及びやや良好企業の割合」 - 「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

【本件の照会先】 あおもり創生パートナーズ株式会社 TEL : 017-718-3161 担当 : 今井 亮平

1 2022年10~12月期の業況

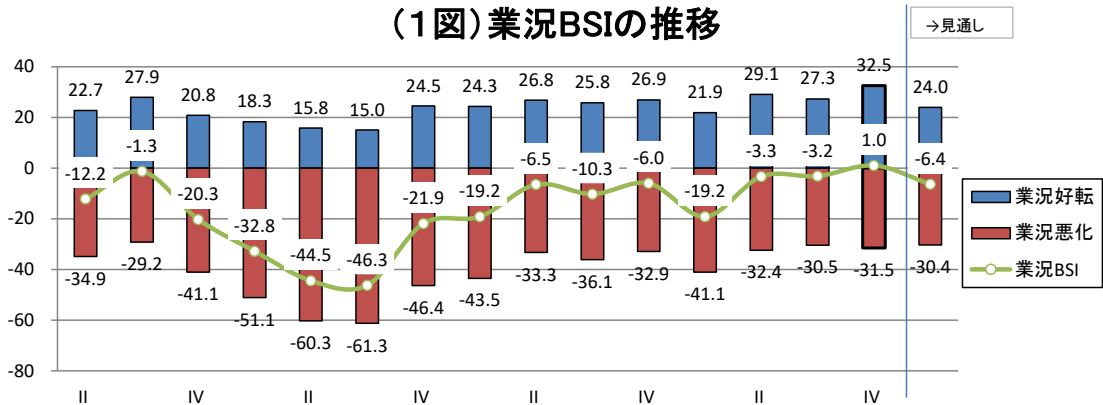
[1] 業況 ~3期連続上昇~

◎全産業「業況BSI」は、1.0（前期比4.2ポイント上昇）3期連続上昇 

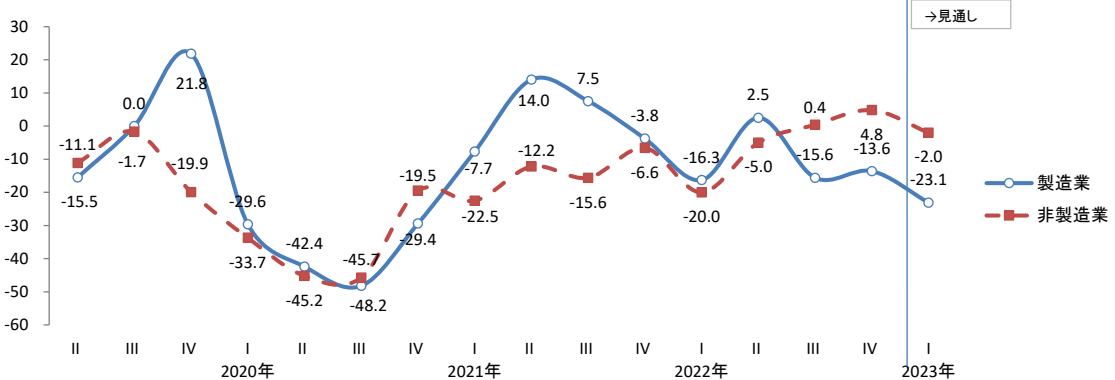
製造業 △13.6(同 2.0ポイント上昇)、非製造業 4.8(同 4.4ポイント上昇)

- <上昇> 卸売業 17.5(同 23.2ポイント上昇) 建築材料、機械器具などが寄与
 運輸・サービス業 17.7(同 3.0ポイント上昇) 道路貨物運送、福祉・介護などが寄与
 製造業 △13.6(同 2.0ポイント上昇) 印刷、木材・木製品などが寄与
 建設業 △12.5(同 0.5ポイント上昇) 職別工事、設備工事などが寄与
 <低下> 小売業 △11.9(同 17.9ポイント低下) 不動産賃貸などマイナス寄与

(1図)業況BSIの推移



(2図)製造業、非製造業別業況BSIの推移



(1表)産業別業況BSIの推移

	製造業	非製造業				合計
		建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス業	
2021年10-12月期	-3.8	-18.2	0.0	-11.5	0.0	-5.9
2022年1-3月期	-16.3	-9.5	-21.6	-35.7	-18.4	-19.2
2022年4-6月期	2.5	-22.7	10.0	-27.8	13.6	-3.3
2022年7-9月期	-15.6	-13.0	-5.7	6.0	14.7	0.4
2022年10-12月期	-13.6	-12.5	17.5	-11.9	17.7	1.0
来期見通し	-23.1	-12.5	-17.5	-11.9	24.4	-6.4

[2] 地区別の業況 ～「業況BSI」青森、県南上昇、津軽低下～

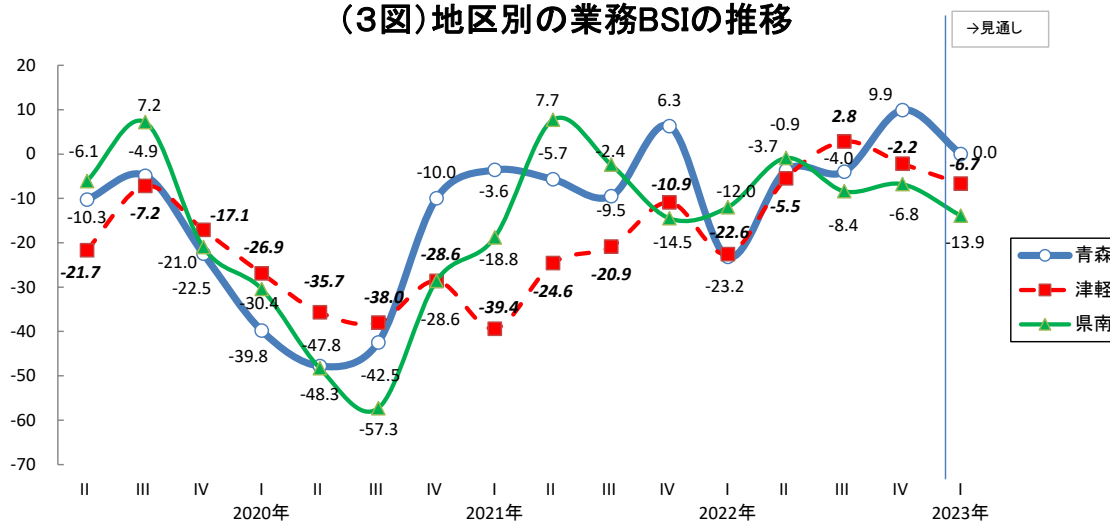
◎青森地区「業況BSI」 9.9（前期比13.9ポイント上昇）

◎津軽地区「業況BSI」 Δ2.2（同 5.0ポイント低下）

◎県南地区「業況BSI」 Δ6.8（同 1.6ポイント上昇）



(3図) 地区別の業務BSIの推移



(2表) 地域別BSIの推移

	業況BSI			生産高BSI			出荷高BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年10-12月期	6.3	-10.9	-14.5	0.0	23.1	4.2	13.3	23.1	-25.0
2022年1-3月期	-23.2	-22.6	-12.0	12.5	-63.6	0.0	11.8	-54.5	-18.2
2022年4-6月期	-3.7	-5.5	-0.9	9.7	17.2	10.3	0.0	4.0	14.3
2022年7-9月期	-4.0	2.8	-8.4	11.5	9.1	3.8	10.7	4.3	16.0
2022年10-12月期	9.9	-2.2	-6.8	5.0	-4.8	-8.3	23.8	4.8	-4.2
来期見通し	0.0	-6.7	-13.9	5.0	-14.3	-4.3	4.8	0.0	4.3
	売上高BSI			受注高BSI			在庫投資BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年10-12月期	-12.0	5.6	11.1	0.0	-53.3	0.0	6.4	31.3	2.3
2022年1-3月期	-29.4	-18.9	-10.3	-26.7	-28.6	-21.4	13.7	13.3	16.7
2022年4-6月期	6.1	6.2	1.8	-23.1	-7.4	-10.2	15.1	12.5	11.9
2022年7-9月期	4.1	11.3	1.9	-33.3	-13.0	-18.5	16.9	21.7	9.3
2022年10-12月期	27.4	21.2	16.4	0.0	-11.8	-43.5	22.7	32.6	2.0
来期見通し	15.1	7.7	7.4	-16.0	5.9	-43.5	18.5	19.6	-8.2
	設備投資BSI			採算BSI			資金繰りBSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年10-12月期	9.9	5.1	0.0	-1.3	-12.7	-10.0	14.3	-3.2	8.7
2022年1-3月期	-13.8	-1.7	0.0	-14.5	-28.8	-15.3	3.6	-3.3	6.8
2022年4-6月期	1.5	3.8	-8.0	-5.3	-6.6	-10.7	5.3	-1.0	5.3
2022年7-9月期	8.3	4.9	-5.7	40.8	32.8	28.9	10.5	-9.6	8.5
2022年10-12月期	5.9	2.3	4.0	3.4	-5.6	-13.1	11.2	-6.8	6.9
来期見通し	3.4	6.8	-2.0	-2.7	-9.2	-23.2	7.0	-7.0	2.0

[3] 売上高～3期連続上昇～、出荷高～2期ぶり低下～、受注高～2期連続上昇～

◎「売上高 BSI」 22.2 (前期比 16.4 ポイント上昇) 3期連続上昇 ↗

<上昇> 卸売業 24.2(同 30.0 ポイント上昇) 建築材料、機械器具などが寄与
 運輸・サービス業 30.3(同 14.8 ポイント上昇) 情報サービスなどが寄与
 <低下> 小売業 4.8(同 3.2 ポイント低下) 織物・衣服、飲食料品などマイナス寄与

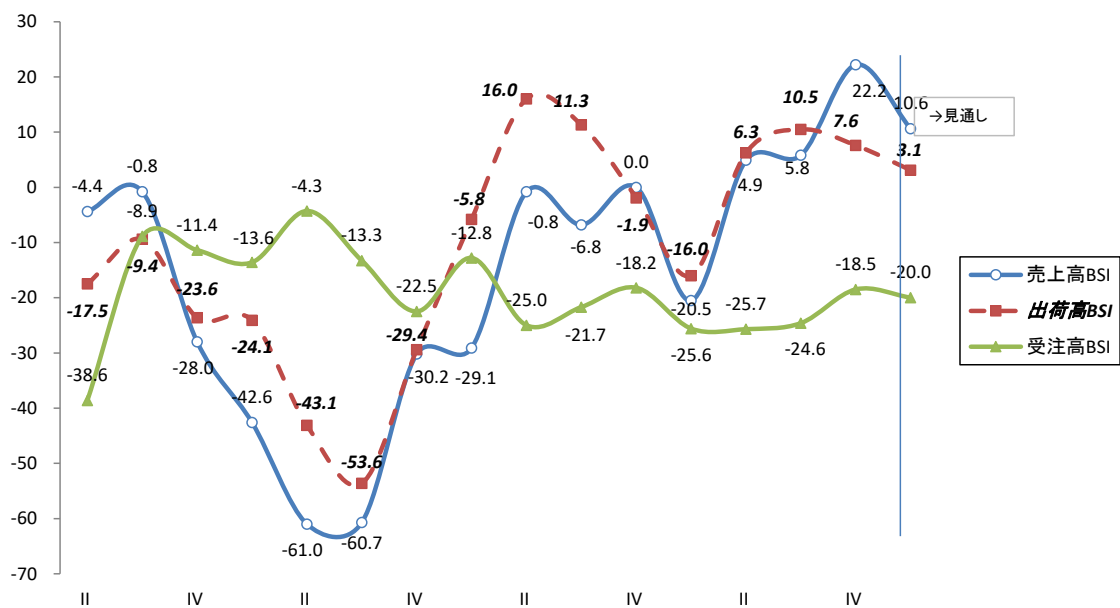
◎「出荷高 BSI」 7.6(前期比 2.9 ポイント低下) 2期ぶり低下 ↘

食料品、業務用機械器具、飲料などマイナス寄与

◎「受注高 BSI」 (建設業) Δ 18.5(前期比 6.1 ポイント上昇) 2期連続上昇 ↗

設備工事、職別工事が寄与

(4図) 売上高・出荷高・受注高 BSI

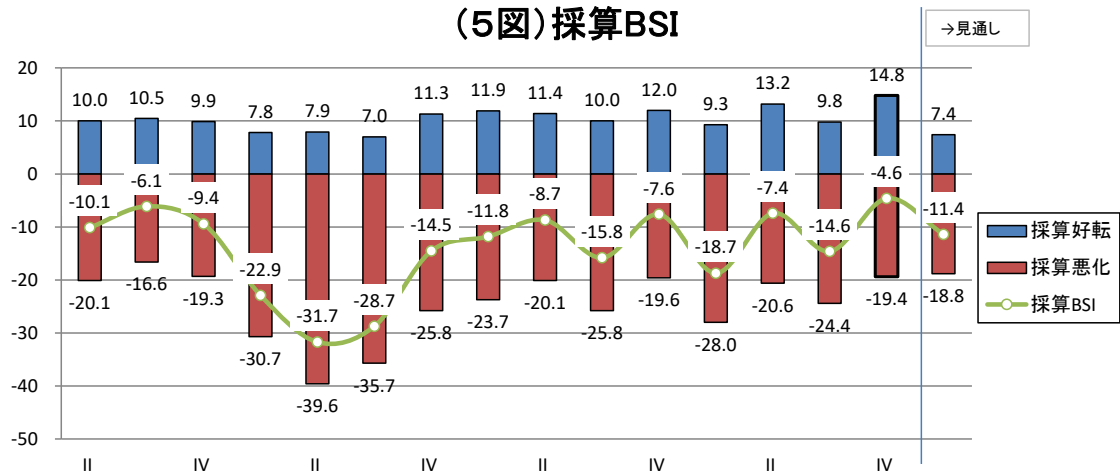


[4] 採算 ～「採算BSI」、2期ぶり上昇～

◎全産業「採算BSI」△4.6（前期比10.0ポイント上昇）2期ぶり上昇 ↗

- <上昇> 「卸売業」15.9(同17.3ポイント上昇) 建築材料などが寄与
 「製造業」△21.5(同13.6ポイント上昇) 食料品、窯業・土石製品などが寄与
 「運輸・サービス業」1.3(同12.6ポイント上昇) 道路貨物運送などが寄与
 「建設業」△8.5(同4.7ポイント上昇) 設備工事などが寄与
- <低下> 「小売業」△14.6(同6.6ポイント低下) 織物・衣服などマイナス寄与

(5図)採算BSI



[5] 設備投資 ～ 製造業2期ぶり上昇、非製造業2期ぶり低下～

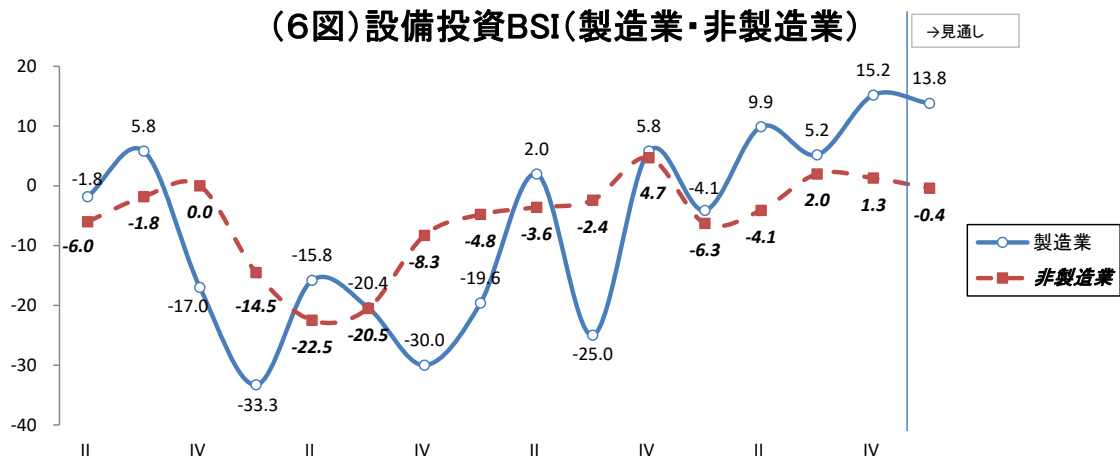
◎「製造業」15.2（前期比10.0ポイント上昇）2期ぶり上昇 ↗

業務用機械器具、食料品、木材・木製品などが寄与

◎「非製造業」1.3（前期比0.7ポイント低下）2期ぶり低下 ↘

- <上昇> 「運輸・サービス業」9.3(同3.7ポイント上昇) 自動車整備などが寄与
 「卸売業」△1.7(同2.8ポイント上昇) 建築材料などが寄与
 「建設業」1.6(同0.1ポイント上昇) 設備工事などが寄与
- <低下> 「小売業」△9.8(同16.6ポイント低下) 飲食料品などマイナス寄与

(6図)設備投資BSI(製造業・非製造業)

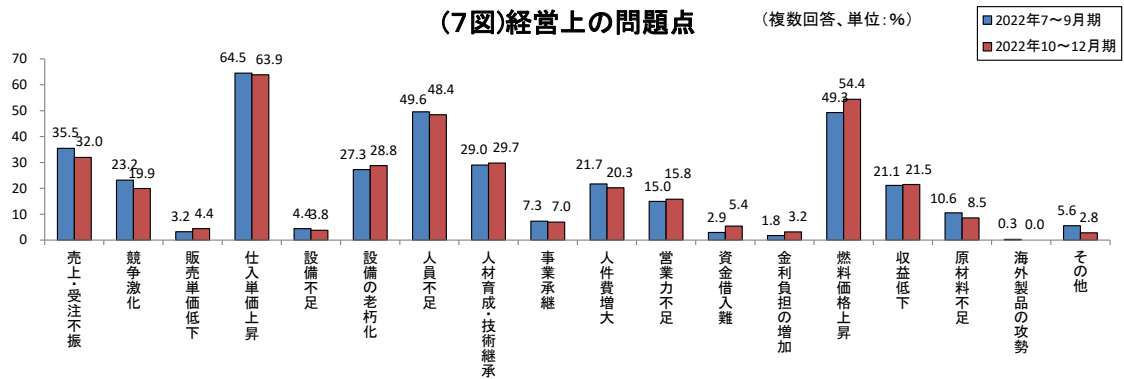


2

経営上の問題点 ～「仕入単価上昇」が最多～

◎「仕入単価上昇」が63.9%と最多

- ・全産業 「仕入単価上昇」最多 63.9% 次いで「燃料価格上昇」 54.4%
- (製造業) 「仕入単価上昇」最多 83.3% 次いで「燃料価格上昇」 80.3%
- (非製造業) 「仕入単価上昇」最多 58.8% 次いで「人手不足」 50.4%



3

来期の見通し ～「業況BSI」低下～

◎来期(2023年1～3月期)の全産業「業況BSI」△6.4(当期比7.4ポイント低下)

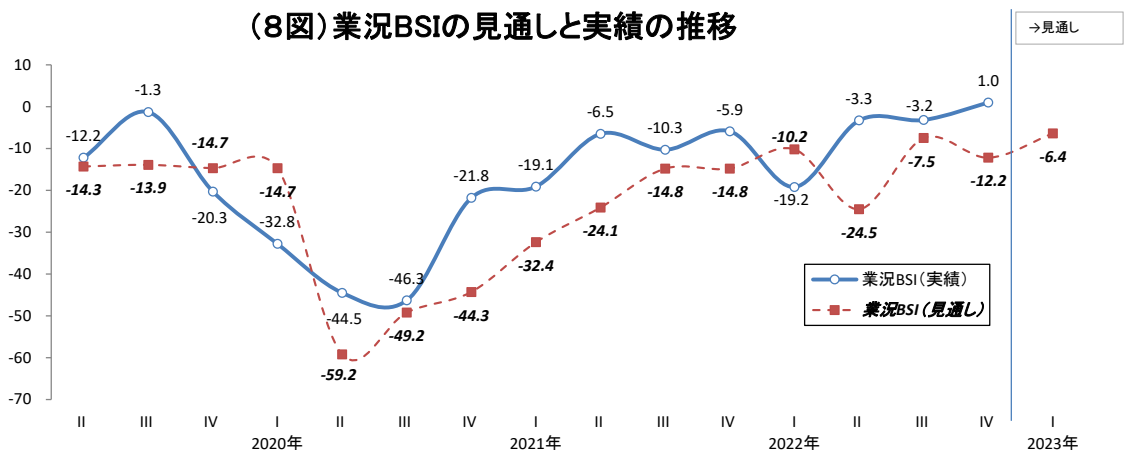
<上昇> 運輸・サービス業 24.4(同 6.7ポイント上昇) 自動車整備などが寄与

<横ばい> 建設業 △12.5(同横ばい)

小売業 △11.9(同横ばい)

<低下> 製造業 △23.1(同 9.5ポイント低下) 木材・木製品、印刷などマイナス寄与

卸売業 △17.5(同 35.0ポイント低下) 飲食料品、建築材料などマイナス寄与



【特別調査】 県内企業の2022年冬のボーナス支給状況

企業業況調査と並行して、県内企業の2022年冬のボーナス支給状況について特別調査を実施した。調査要領は企業業況調査と同様であり、回答企業は271社であった。

ー 平均支給額は前年比5.0%増、全産業で増加 ー

◎県内企業の2022年冬のボーナス平均支給額は29万1,686円（前年比5.0%増、13,797円増）

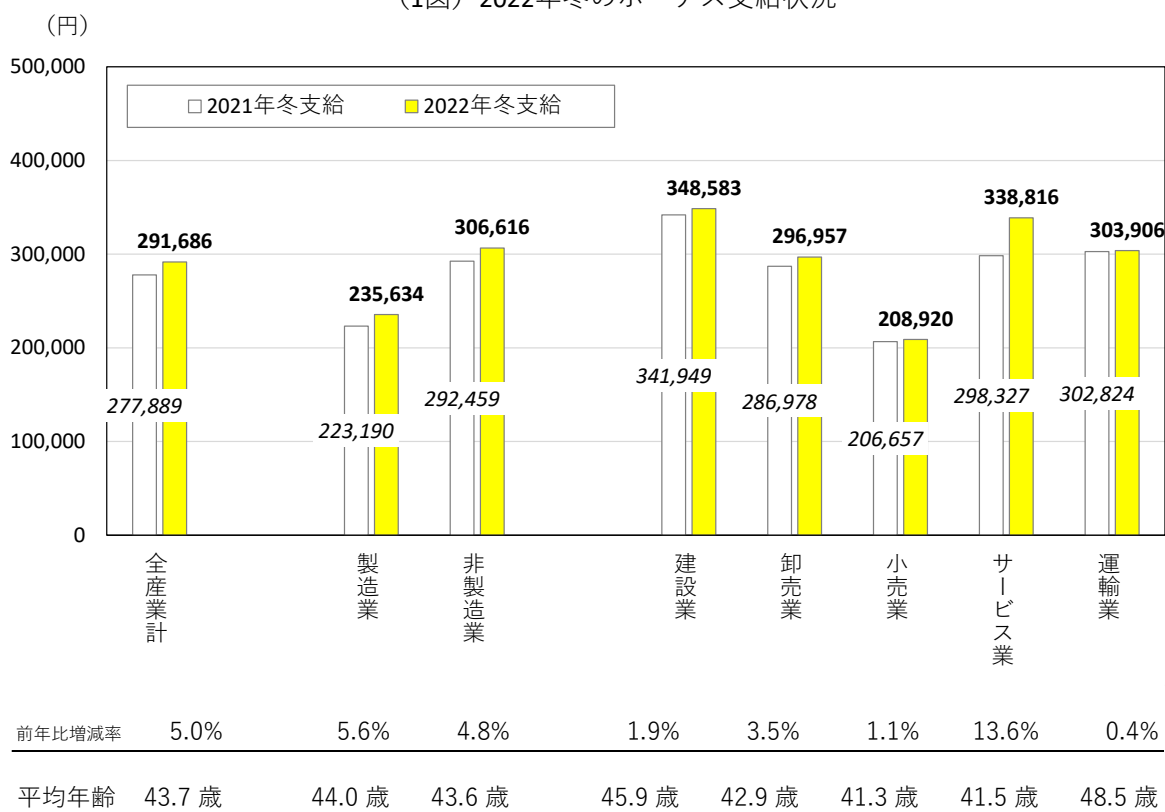
◎産業別平均支給額

製造業	23万5,634円(前年比5.6%増、1万2,444円増)
非製造業	30万6,616円(同4.8%増、1万4,157円増)
〈増加〉サービス業	33万8,816円(同13.6%増、4万489円増)
卸売業	29万6,957円(同3.5%増、9,979円増)
建設業	34万8,583円(同1.9%増、6,634円増)
小売業	20万8,920円(同1.1%増、2,263円増)
運輸業	30万3,906円(同0.4%増、1,082円増)

- ・製造業、非製造業を含めた全産業において、前年実績を上回った。
- ・非製造業ではサービス業の増加度合いが大きく、増加金額は4万円を上回った。
- ・支給額の最多は建設業で34万8,583円、最少は小売業で20万8,920円となった。

(以上 1図 参照)

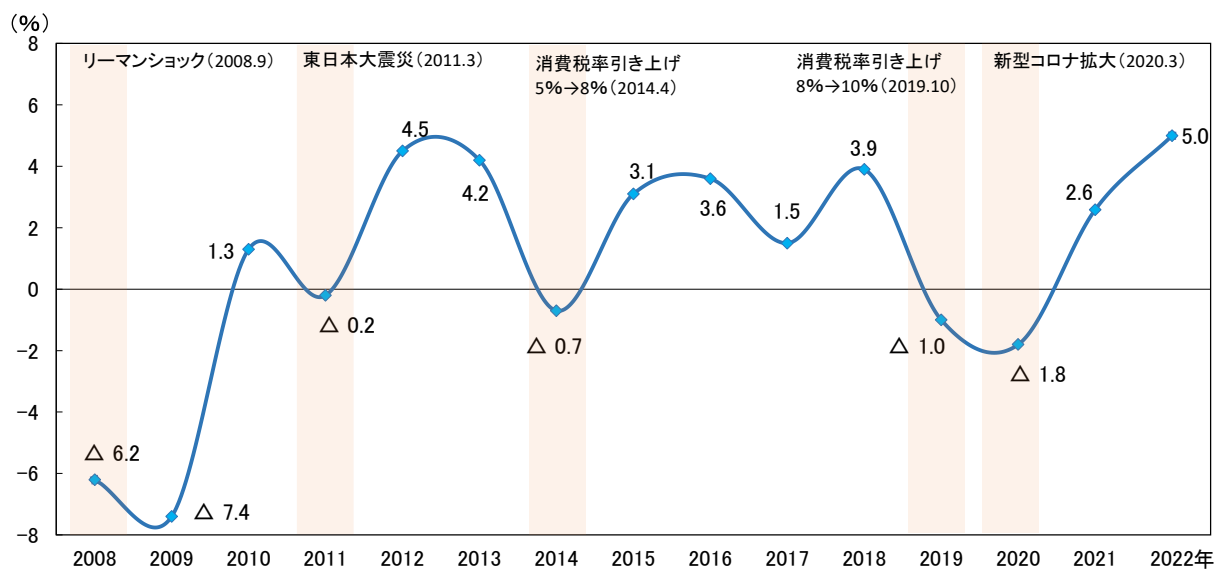
(1図) 2022年冬のボーナス支給状況



・ **平均支給額は、2年連続前年比プラス**

・ 県内企業の冬のボーナス平均支給額(弊社グループ調査)は、5.0%増と2年連続前年比プラスとなり、新型コロナウイルス影響による落ち込みからの回復傾向がみられた。

(2図)冬のボーナス対前年増減率の推移



【本件に関する照会先】

あおもり創生パートナーズ株式会社

担 当: 今井 亮平

TEL. 017-718-3161